

『生きがい通信』では、兵庫県生きがい創造協会本部の事業や高齢者大学等の諸事業をお知らせしています。

トピックス

学生参加番組『語り継ぐ 阪神・淡路大震災30年』を放送



ひょうごラジオカレッジでは、阪神・淡路大震災から30年という節目の年を迎えるにあたり、今年度の特集号のテーマを『語り継ぐ 阪神・淡路大震災 震災30年』とし、当時の体験や30年を迎える思いを募集したところ、61編もの投稿があり。テキスト特集号に掲載しました。

その中から、12名の方に学生参加番組『語り継ぐ阪神・淡路大震災30年』に出演いただき、1月4日（土）と11日（土）の2週にわたりラジオで放送しました。

被災した場所や被害状況に違いはあっても、震災発生時の記憶や亡くなられた方への想いは30年を経た今も皆さんの心の中に残っていることが分かりました。



【収録の様子】

「就任のごあいさつ」

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会
理事長 橋本 正 人



4月から兵庫県いきがい創造協会理事長に就任しました橋本です。
どうぞよろしくお願いいたします。

学ぶこと、学び続けることの大切さについて、江戸時代の学者、佐藤一斎が書かれた「言志四録」に、

小にして学べば、則ち壮にして為すこと有り。

壮にして学べば、則ち老いて衰えず。

老いて学べば、則ち死して朽ちず。

という有名な言葉があります。人は、常に学ぶことで人生を豊かにすることができる、学び続ける限り、いくつになっても「成長と感動」を自分の人生の友としていくことができる、ということを意味しているそうです。

いきがい創造協会では、全国に先駆けて開園した高齢者大学「いなみ野学園」や「阪神シニアカレッジ」をはじめ高齢者放送大学「ひょうごラジオカレッジ」などの運営に取り組んでいます。

いま人生100年時代。高齢者をはじめ県民一人ひとりが、健康で生きがいを持ち充実した日々を過ごすため、生涯にわたる学びの継続や人や地域とのつながりを持つことが必要といわれています。

一方、少子高齢化や人口減少が進む中、地域が活力を維持し、希望の持てる地域であるためには、高齢者が自らの学びや経験を活かしその支え手として参画することが期待されています。当協会では、県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点として、あらゆる世代の学び、地域を越えた交流や高齢者の社会参加の支援に積極的に取り組んでまいります。

生きがい創造協会は、皆様の生涯にわたる学びを応援しています。

令和7年度、これまで協会が行ってきた「いなみ野学園」「阪神シニアカレッジ」「ひょうごラジオカレッジ」の運営を引き続き図っていくとともに、生涯学習講座の実施、公民館等社会教育施設職員等を対象とした人材育成、シニアニュースポーツの普及、生涯学習情報の発信など、あらゆる世代の生涯学習を支援する取組を充実し、全県の生涯学習先導拠点としての役割を果たしていきます。

生涯学習の推進、多様な連携・交流

1 生涯学習の総合的推進

項 目	事 業 名
(1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施	・ ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営〔協会本部〕 ・ 生涯学習リーダバンクの運営〔協会本部〕 ・ 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施〔協会本部〕 ・ 生涯学習情報提供・相談の実施〔協会本部〕 ・ 生涯学習にかかる調査研究〔協会本部〕
(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施	・ 生涯学習公開講座〔協会本部、いなみ野、阪神〕 ・ 多世代交流事業の実施〔いなみ野〕 ・ 短期集中講座の実施〔協会本部〕 ・ 聴講生制度〔いなみ野、阪神〕 ・ ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供〔放送大〕
(3) 生涯学習関係機関職員研修の実施	・ 社会教育関係職員等研修〔協会本部〕

2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

- ・ 大学等学校教育機関との連携〔協会本部、いなみ野、阪神〕
- ・ 公民館等市町関係機関との連携〔協会本部、いなみ野〕
- ・ 博物館等社会教育機関との連携〔協会本部、いなみ野、阪神〕
- ・ 高齢者大学等関係組織との連携〔いなみ野、放送大、阪神〕
- ・ 広域ネットワーク組織との連携〔協会本部、いなみ野、阪神〕
- ・ NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携〔いなみ野、阪神〕
- ・ 学園の魅力を活かした地域住民との交流〔いなみ野〕

地域社会を支える学びの支援

3 地域社会を支える高齢者等の学びの支援

項 目	事 業 名
(1) 高齢者大学事業の充実	・ いなみ野学園 (4年制大学講座、陶芸学科専修コース、大学院講座、研究生制度、学園運営等各種サポーター) ・ 阪神シニアカレッジ (4年制大学講座、阪神ひと・まち創造講座)
(2) ひょうごラジオカレッジ事業の実施	・ ひょうごラジオカレッジ (高齢者放送大学) ・ ラジオカレッジサポーター
(3) 地域づくり活動の推進と支援	・ いなみ野学園地域活動支援センター ・ 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター
(4) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供	・ シニアスポーツ、全国健康福祉祭 (ねんりんピック) 〔協会本部〕

4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流 (再掲)

経営の健全性・透明性の確保

5 経営の健全性・透明性の確保

項 目	事 業 名
(1) 安定した収入の確保	・ 高齢者大学入学者の確保、適正な受益者負担の徴収、寄付募集の推進、オープンキャンパス [いなみ野、阪神] ・ 高齢者手づくりの店、高齢者園芸センター、高齢者陶芸の村 〔協会本部〕
(2) 職員の適正配置等による運営	・ 施設の効率的運営の推進 [協会本部、いなみ野、阪神]
(3) 協会事業の透明性確保・広報の充実	・ 協会事業の見える化 [協会本部] ・ マスメディアとの連携 [協会本部、いなみ野] ・ いなみ野学園情報番組の制作・発信 [協会本部、いなみ野] ・ ホームページの運営 [協会本部、いなみ野、放送大、阪神]
(4) 経営改善の推進	

※実施機関 [協会本部] 兵庫県生きがい創造協会 総務部・生涯学習部 [いなみ野] いなみ野学園
[放送大] 高齢者放送大学 (ひょうごラジオカレッジ) [阪神] 阪神シニアカレッジ

各施設だより

いなみ野学園・阪神シニアカレッジだより

いなみ野学園・阪神シニアカレッジで修了式・卒業式を挙行了しました

いなみ野学園で2月28日（金）、阪神シニアカレッジで3月6日（木）に、それぞれ『修了式・卒業式』が挙行されました。

いなみ野学園では、坂本学園長から大学院修了生50名に修了証書が、大学講座卒業生161名に卒業証書が授与されました。引き続き、学園長式辞、東播磨県民局長による知事祝辞代読などの後、卒業記念品贈呈、在校生からの送辞と卒業生の謝辞が述べられ、学園歌を演奏して、厳かな雰囲気の中執り行われました。

阪神シニアカレッジにおいても、阪神ひと・まち創造講座の修了生26名、園芸学科30名、健康学科43名、国際理解学科53名の卒業生に田辺眞人学長から証書が授与されました。続いて、在学中一度も欠席せず皆勤された学生7名が紹介され、熱心な学びの姿勢に大きな拍手が送られました。田辺学長の式辞、兵庫県県民生活部小谷次長の挨拶に続き、在学生代表、修了生・卒業生代表による挨拶が述べられ、最後に全員でカレッジソングを斉唱して式の締めくくりとなりました。



いなみ野学園・阪神シニアカレッジ「聴講生」を募集します

生きがい創造協会では、生涯にわたる 学びを応援することを目的として、いなみ野学園及び阪神シニアカレッジ の講座を広く一般に公開する聴講生制度を設けています。

年齢・居住地にかかわらずどなたでも受講できます。いなみ野学園・阪神シニアカレッジへの入学を検討されている方にもお勧めです。申込方法など詳しくはホームページをご覧ください。

受講料（1講座）：一般：1, 500円

（いなみ野学園・阪神シニアカレッジの学生・卒業生：1, 300円）

問合せ先：いなみ野学園 ☎079-424-3342

阪神シニアカレッジ ☎0797-26-8001

【いなみ野学園 聴講生ホームページ】

<https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/inamino/attend.html>

【阪神シニアカレッジ 聴講生ホームページ】

<https://hsenior.jp/contents/tyoukou>

いなみ野学園 陶芸学科 53期生・専修生「卒業記念作陶展」

2月5（水）から9日（日）にかけ、東播磨生活創造センター「かこむ」展示ギャラリーにおいて、いなみ野学園陶芸学科第53期生・専修生の主催による「卒業記念作陶展」が開催されました。

期間中、53期生は4年間の集大成として12名が80点を、専修生も4名が22点を、そして「賛助出展」として講師等9名も各1点を出展しました。

さらに「4年間の歩み」として53期生がこれまでに制作した作品も加え、大物花器、皿、鉢などの力作約200点が展示され、来場者は連日100名を上回り熱心に鑑賞していました。



いなみ野学園大学院18期生「修了レポート発表会」を開催しました

いなみ野学園大学院18期生による「修了レポート発表会」が、2月7日（金）・9日（日）の両日にわたり開催されました。

18期生50名は、「歴史・文化コース」「環境・域コース」「健康・福祉コース」「景観園芸コース」の4つのコースのうち1つを選択し、2年間、これまでの経験を踏まえ、また興味・関心のあるテーマに沿って研究を深め、集大成となる修了レポートを作成。発表会では、その成果を的確にまとめたオリジナリティあふれる多くの発表が行われました。



いなみ野学園に卒業記念の「洋木植栽」等を寄贈して頂きました

緑豊かないなみ野学園の木々は園芸学科庭木コースの教材ですが、創立50年を超える学園の植栽は、ほとんどが和木であることから、今年度の園芸学科卒業生たちが「これからは洋風の木でも実習ができるようにしたい!」との思いから、オリーブなどの苗木を寄贈していただくことになりました。

園芸学科庭木コースの講師の指導のもと、17日間かけて植樹作業が行われ、大教室西側に新しい実習庭園が完成しました。寄贈された庭木は、オリーブ、シマトネリコ、ジューンベリー、フェイジョア、レモン、常緑ヤマボウシの7種類。いずれも家庭用の植栽として人気の品種です。実がなる季節を楽しみに、この洋風の庭で、これから多くの学生たちが新しい庭木の学びを深めていくことでしょう。



洋木植栽以外にも「卒業記念品」として大講堂等での「掲揚旗」（国旗・県旗・協会旗）に加え、大教室の「大時計」を寄贈していただきました。

また「学園図書館寄付」として16万円を図書館に寄贈され、今後の図書の充実等に活用させていただくことになりました。



【 掲揚旗 】



【 大教室大時計 】

いなみ野学園「オンラインカレッジ」令和7年度 受講生募集中

いなみ野学園では、歴史や芸術、医療・介護、防災・防犯などの幅広い分野について、多彩な講師陣による興味深い講義を録画配信する「いなみ野学園オンラインカレッジ」の年間受講生を募集しています。

住所・年齢を問わず、どなたでもパソコン等で受講できます。なお、受講申し込みをされた方には、いなみ野学園での共通講座聴講券を年間3講座（4,500円相当）分さしあげます。

受講料（年額）：15,000円（約20講座）

問合せ先：いなみ野学園 電話079-424-3342

申込方法：生きがい創造協会のホームページの申込書をいなみ野学園までお送りください。

【 生きがい創造協会 オンライン講座ホームページ】

<https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/online/index.html>

「第67回兵庫県公民館大会」を開催しました

令和7年1月31日（金）、県内の公民館活動のさらなる充実・発展を図るため、いなみ野学園において「自治の土壌を耕す公民館 ～人が輝き地域が輝く絆づくり～」をテーマに、県下各地の公民館関係者や社会教育・生涯学習行政職員など約130名が参加し「第67回兵庫県公民館大会」が開催されました。

当日は、主催者あいさつや優良職員表彰等の開会行事に続き、午前のプログラムでは、文部科学省地域学習推進課の萱津係長による施策説明「今後の社会教育の推進と施策の動向」や「実践発表」として稲美町ふれあい交流館の中嶋館長、加東市東条公民館の勝田係長、たつの市立中央公民館の佐用館長の3名からそれぞれ発表が行われました。



【主催者あいさつ】



【優良職員表彰】



【文部科学省施策説明】



【実践発表：稲美町】



【実践発表：加東市】



【実践発表：たつの市】

午後は、東京大学大学院教育学研究科の牧野 篤教授より「～自治の土壌を耕す公民館／ちいさなしあわせを重ねあう社会へ～」を演題に講演を行っていただきました。

また、会場の一角には、各市町に協力いただき「公民館活動展示コーナー」も設けられ、昼食・休憩時には多くの関係者にご覧いただきました。



【講演】



【公民館活動展示コーナー】

「短期集中講座」が好評！文学・動画配信・園芸…多彩なニーズに応える

生涯学習部では令和6年度後半、短期間で集中的に学べる『いなみ野学園短期集中講座』を3講座開講し、いずれも受講者から好評を得ました。

『ひょうご文学散歩』（4回）では、兵庫県を舞台とした文学作品を紹介。参加者からは「紹介された本をまず一冊読みたい」「文学への興味が深まった」といった感想をいただきました。

シニア層向けの『スマートフォンだけでできる！YouTube動画配信セミナー』（3回）では、初心者でも安心して学べるよう配慮された指導が好評。「できない人目線で考えていただき、居心地が良かった」などのほか「動画作成のスキルを磨きたい」と意欲的な声も聞かれました。

『はじめての園芸 入門ミニ講座』（3回）では、野菜、花、果樹の栽培を基礎から学びました。「講義が役立った」「花の寄せ植えが楽しかった」など、実践的な内容に満足する声が多数寄せられました。

各講座とも3～4回の短期集中型で、趣味や知識欲に応える多彩なテーマ設定が受講者のニーズに合致しました。令和7年度も様々な企画で短期集中講座を継続していく予定です。



【ひょうご文学散歩】



【YouTube動画配信セミナー】



【はじめての園芸 入門ミニ講座】

ひょうごラジオカレッジだより

令和6年度「春のつどい」を開催しました

3月7日（金）、いなみ野学園大講堂において、学生約170名に出席いただき、修了証書授与式及び努力賞表彰式と講演会を開催しました。

当日出席いただいた本科を修了する99名のうち、23名に修了証書が、生涯聴講生のうち年間11回以上課題感想文を提出及びスクーリングを受講された701名のうち107名に努力賞が授与され、学友とお互いの努力をたたえ合いました。

毎年楽しみにされている努力賞の副賞は、本年度講師の大本山須磨寺貫主小池弘三先生の色紙「花は半開を愛でる」を贈呈しました。足るを知り、気持ちに余裕を持って、心豊かな人生を送っていただきたいとの思いが込められています。



講演会では、同じく本年度講師のタレントの椿奈々先生に「不登校・現代の子どもへの接し方」と題してお話しいただきました。不登校を乗り越え、新たなことに挑戦している先生の経験談や、現代の子どもへの接し方など、歌も交えながら高齢者にとっても有意義なお話をいただきました。

また、久しぶりに会った学友との交流を深め、さらに今後に向けて学ぶ意欲が高まるなど、有意義な春のつどいとなりました。

阪神シニアカレッジだより

「学長文学歴史サロン」を開催

3月11日（火）、田辺学長がプロデュースする公開講座「学長文学歴史サロン」の第5回目が行われました。

今回は「春のクラシック音楽から」をテーマに、兵庫県を中心に活動しているヴァイオリン、フルートのデュオ「デュオてまり」とピアニストの仲内咲樹さんをお迎えし、約70人の参加のもと、レクチャーとクラシック音楽の演奏によるひとときを過ごしていただきました。



田辺学長からは、エジソンが作った蓄音機の実物の紹介があり、参加者の関心を大いに集めました。ヴィヴァルディ「四季・春・第1楽章」や宮城道雄「春の海」など、デュオてまりの奏でる和洋の名曲が春の訪れを感じさせ、今年度の締めくくりにふさわしい楽しい催しとなりました。



令和7年4月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3

TEL:079-424-3380 FAX:079-424-3475